



## 2022年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月12日

上場会社名 三光合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 芹川 明

TEL 0763-52-7105

四半期報告書提出予定日 2021年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年5月期第1四半期の連結業績(2021年6月1日～2021年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第1四半期	13,840	17.7	149	46.8	69	66.5	178	83.0
2021年5月期第1四半期	11,755	9.4	281	133.5	207		97	

(注) 包括利益 2022年5月期第1四半期 1百万円 (99.2%) 2021年5月期第1四半期 246百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第1四半期	5.85	
2021年5月期第1四半期	3.19	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期第1四半期	55,323	20,438	36.3	658.32
2021年5月期	56,633	20,649	35.8	665.56

(参考) 自己資本 2022年5月期第1四半期 20,068百万円 2021年5月期 20,289百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期		4.00		7.00	11.00
2022年5月期					
2022年5月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.8	2,900	20.3	2,700	38.4	1,800	38.2	59.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年5月期1Q	30,688,569 株	2021年5月期	30,688,569 株
期末自己株式数	2022年5月期1Q	204,696 株	2021年5月期	204,696 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年5月期1Q	30,483,873 株	2021年5月期1Q	30,483,932 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の効果により先進国を中心に景気は持ち直しつつありますが、感染の再拡大が各国で見られることや、半導体不足・原材料価格の高騰など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、付加価値の高い製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,840百万円（前年同期比17.7%増）となり、利益面におきましては、営業利益は149百万円（前年同期比46.8%減）、経常利益は69百万円（前年同期比66.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は178百万円（前年同期比83.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

車両用内外装部品及び金型の増収により、売上高は5,597百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は275百万円（前年同期比41.0%増）となりました。

## ② 欧州

車両用内外装部品は増収となりましたが、金型の減収により、売上高は1,550百万円（前年同期比3.9%減）、セグメント利益は19百万円（前年同期比90.2%減）となりました。

## ③ アジア

金型は減収となりましたが、タイ、インドネシア及びインドでの車両用内外装部品や家電部品が増収となり、売上高は4,675百万円（前年同期比52.7%増）となり、セグメント利益は75百万円（前年同期はセグメント損失89百万円）となりました。

## ④ 北米

車両用内外装部品は減収となりましたが、金型の増収により売上高は2,017百万円（前年同期比17.2%増）となり、セグメント利益は57百万円（前年同期比54.2%減）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	
		売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
成形品	情報・通信機器	1,700	13.8
	車両	8,127	24.5
	家電その他	1,104	40.0
成形品計		10,932	24.1
金型		2,908	△1.2
合計		13,840	17.7

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、55,323百万円（前連結会計年度末比1,309百万円減）となりました。これは、受取手形及び売掛金が983百万円並びに有形固定資産が469百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、34,884百万円（前連結会計年度末比1,098百万円減）となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,070百万円並びに未払法人税等が300百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、20,438百万円（前連結会計年度末比211百万円減）となりました。これは、為替換算調整勘定が205百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年7月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,079	7,917
受取手形及び売掛金	13,814	12,831
商品及び製品	1,716	1,902
仕掛品	4,096	3,552
原材料及び貯蔵品	1,102	1,161
その他	1,648	2,225
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	30,457	29,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,137	7,814
機械装置及び運搬具(純額)	8,728	8,404
工具、器具及び備品(純額)	1,510	1,490
土地	5,139	4,835
建設仮勘定	1,637	2,137
有形固定資産合計	25,152	24,683
無形固定資産		
のれん	123	116
その他	374	362
無形固定資産合計	497	478
投資その他の資産		
投資有価証券	18	18
その他	507	552
投資その他の資産合計	525	571
固定資産合計	26,176	25,732
資産合計	56,633	55,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,398	6,328
電子記録債務	2,589	2,507
短期借入金	5,820	5,820
1年内返済予定の長期借入金	1,984	1,951
1年内償還予定の社債	75	75
未払法人税等	447	146
賞与引当金	176	148
役員賞与引当金	44	—
その他	4,946	5,717
流動負債合計	23,481	22,695
固定負債		
長期借入金	7,577	7,473
役員退職慰労引当金	23	18
退職給付に係る負債	865	845
その他	4,035	3,850
固定負債合計	12,501	12,189
負債合計	35,983	34,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,008	4,008
資本剰余金	4,071	4,071
利益剰余金	13,344	13,309
自己株式	△43	△43
株主資本合計	21,381	21,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△3
退職給付に係る調整累計額	△278	△258
為替換算調整勘定	△810	△1,016
その他の包括利益累計額合計	△1,092	△1,278
非支配株主持分	360	370
純資産合計	20,649	20,438
負債純資産合計	56,633	55,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)
売上高	11,755	13,840
売上原価	10,071	12,065
売上総利益	1,683	1,774
販売費及び一般管理費	1,402	1,625
営業利益	281	149
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	3
受取賃貸料	17	16
雇用調整助成金	84	3
その他	9	20
営業外収益合計	113	44
営業外費用		
支払利息	84	89
為替差損	46	2
デリバティブ損失	42	20
その他	13	11
営業外費用合計	187	124
経常利益	207	69
特別利益		
固定資産売却益	2	169
国庫補助金	85	—
特別利益合計	88	169
特別損失		
固定資産除却損	25	5
固定資産売却損	3	4
固定資産圧縮損	85	—
特別損失合計	114	9
税金等調整前四半期純利益	181	229
法人税等	127	35
四半期純利益	54	194
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	97	178

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	54	194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	177	△212
退職給付に係る調整額	15	19
その他の包括利益合計	192	△192
四半期包括利益	246	1
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	287	△7
非支配株主に係る四半期包括利益	△40	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について棚卸資産の消滅を認識しておりましたが、当社が実質的に買戻し義務を負っていると判断される有償支給取引について、当第1四半期連結会計期間より金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2019年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,358	1,613	3,062	1,721	11,755	—	11,755
セグメント間の内部売上高 又は振替高	592	—	279	4	876	△876	—
計	5,950	1,613	3,342	1,725	12,631	△876	11,755
セグメント利益又は損失(△)	195	193	△89	125	424	△143	281

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△168百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,597	1,550	4,675	2,017	13,840	—	13,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	792	0	343	0	1,136	△1,136	—
計	6,390	1,550	5,019	2,017	14,977	△1,136	13,840
セグメント利益	275	19	75	57	427	△277	149

(注) 1. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去△152百万円及び各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△125百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計
	日本	欧州	アジア	北米	
成形品事業					
情報・通信機器	1,214	—	485	—	1,700
車両	2,510	863	3,366	1,386	8,127
家電その他	440	38	615	10	1,104
成形品事業計	4,164	902	4,468	1,396	10,932
金型事業	1,432	647	207	621	2,908
顧客との契約から生じる収益	5,597	1,550	4,675	2,017	13,840
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,597	1,550	4,675	2,017	13,840